



みょうけん こういちろう
明見 孝一郎

明日を見据えて全力投球 !!

平成29年11月発行

明見 孝一郎
後援会 会報

発行責任者 妹尾 貴之
編集責任者 馬場 彰彦
《内部資料》

◆平成29年 第2回尼崎市議会定例議会ご報告◆

第2回市議会定例会が平成29年9月12日から平成29年10月12日までの31日間の会期で開催されました。市長から**決算認定案5件、補正予算案2件、条例案3件、その他の案件12件**が提出され、また、**衆議院解散による総選挙にかかわる補正予算**が追加され審議を行いました結果、**全ての議案が賛成多数にて可決されました**。また、議員提出議案にて、**市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例が可決**され、依然として厳しい財政に協力するために**ボーナスの5%カット**を前任期に引き続き現任期中も実施することとしました。

例年9月定例会は、前年度の決算審査を行っていますが、今年度の決算審査より、これまで我が会派が提案してきました『**決算審査方法の見直し**』が採用され実施されました。昨年までの決算審査は、各会派より選出された決算特別委員による「一般会計分」と「企業会計分」に分かれて審査をしていましたが、その各会計決算審査には、4年に一度しか経験できませんでした。また、決算審査方法と次年度予算審査方法が異なるため、予算への連動性がありませんでした。この度の決算審査方法の見直しは、全議員が決算特別委員として経験し、各常任委員会（所属常任委員会）5分科会にて決算審査を行うため、より専門性が高められることとなります。

次年度予算審査については、昨年まで予算特別委員（全議員）にて3分科会に分かれた審査を行っていましたが、決算審査方法と同様に各常任委員会（5分科会）に分かれて決算審査を経験した分科会が同様に予算審査を行うように見直しが図られる予定ですので、より施策や事業の中身が問われることとなります。

故に、次年度へと更なる改善が施され、より“**目標**”に向かって“**スピード感**”をもって進んで行くことと自負しています。今後もより成果を出せるよう引き続き審査方法の向上に取り組んでまいります。

◆平成28年度 会計決算審査にて総括質疑を行いました◆

平成28年度一般会計の決算状況は、当初予算で措置していた59億円の財源対策のうち、32億円は減少したものの、27億円の財源対策（基金の取り崩し17億、市債の活用10億円）を行った上での収支均衡であり、依然として厳しい財政状況です。

常任委員会と同様の5つの分科会審査後、会派を代表して総括質疑を行いました。各局が自己評価した施策評価結果や事務事業評価の活用方法や課題等々、決算評価のあり方を指摘し、新たな改善案を提言しました。その一部をご報告します。



【質問】平成29年度施策評価結果について

平成28年度予算編成方針において、施策評価における評価結果に沿って、積極的に事務事業のスクラップ&ビルド※を行い、施策の成果をあげるよう指示されていますが、平成29年度施策評価結果には、ビルドが目立ちスクラップ部分が見えなく、事業のスクラップも評価の一部だと考えるがどうか。

【答弁】企画財務局

施策評価は、翌年度における施策の展開方向の確認や、新規事業の立案、既存事業改廃等へと反映させることで、より効果的・効率的な施策展開を目指すものであり、改革改善の取組についても評価の一部としております。

しかしながら、議員のご指摘のとおり、平成29年度施策評価では、新規拡充の取組に対して、改革改善の取組が少ない状況でございます。今後におきましては、引き続き、施策評価を活用するとともに、一定期間を経過した「新規・拡充事業」について取り組み状況を検証することや、横断的視点で各事業の点検・確認を行うなど、改革改善につきましても、PDCAサイクルの取り組みを進めてまいりたいと考えております。

※スクラップ&ビルド：新設を行う場合、既存しているものを廃止する

【質問】行財政改革の取り組みについて

現在、行財政改革の取り組みの1つである“あまがさき「未来へつなぐ」プロジェクト”については、目標必達に向けた取り組みが行われているが、徐々に取り組み項目、改善効果額ともに捻出が厳しい状況であり、PDCA サイクル《Plan（計画）・Do（実行）・Check（評価）・Action（改善）》が活かされていないと思うがどうか。

【答弁】企画財政局

これまで、“あまがさき「みらいへつなぐ」プロジェクト”に基づく取り組みは、毎年度の予算編成において、新たに取組む項目や、収支見通しなどをお示しする中で、進捗状況の確認を行っているが、決算の段階での成果や課題の確認は、必ずしも十分ではなかったと認識しております。プロジェクトの中間総括では、更なる構造改善の推進や将来負担の抑制など、財政運営上、毎年度遵守すべき規律や、後半5年間で達成すべき目標を設定した上で、毎年度の決算における成果や課題の確認を行い、PDCA サイクルを回しながら、行財政改革の取り組みを進めてまいります。

【平成 28 年度決算を認定】

決算特別委員会にて審査した結果、以下の意見書を付け加え平成 28 年度決算を認定しました。

決 算 特 別 委 員 会 の 意 見 書

本委員会においては、施策評価を活用した決算審査及び施策の評価を行い、新年度予算に向けた効果的な提言を行うべく協議・検討を重ねてきたが、今回、本市の最重要課題である「ファミリー世帯の定住・転入促進」の観点から、学校教育、子ども・子育て支援、住環境の3施策に関し、意見の一致をみた「快適な学習環境の整備」、「児童ホーム運営」、「保育事業」、「空家等の利活用」について提言する。

また、委員会審査において施策評価をより有効に活用できるよう、次の2点について改善を要望する。

1 「ファミリー世帯の定住・転入促進」に関する施策は複数にわたることから、施策間で十分に連携を図り、効果的に推進していく必要がある。

しかしながら、「ファミリー世帯の定住・転入促進」に対する各施策の寄与度の分析や総合的な推進を図る見地からの評価がなく、その進捗状況や成果が分かりにくいことから、横断的にわかりやすく把握できる仕組みを構築し評価を行うべきである。最終成果の測定は困難であるかもしれないが、市民からみてもわかりやすい公表の工夫してもらいたい。

2 まちの魅力の増進とこれまでのマイナスイメージの払しょくを目指し、本市の、魅力を飛躍的に向上できるチャンスとして、城内まちづくりと再建される尼崎城を最大限活用するなど、様々な施策・事業を展開している。これらのシティプロモーションに係る取り組みについても、費用対効果を含めた客観的かつ具体的な成果が把握できるよう、適切な目標・測定指標を設定してもらいたい。

なお、提言・要望については、平成 30 年度予算編成及び今後の施策の展開に反映していただくとともに、その取組状況についての議会への報告をお願いする。

※その他質問事項については『尼崎市議会公式ホームページ』にて動画配信をしています。

ぜひ、[パソコン](#)・[スマートフォン](#)・[タブレット](#)にて視聴してください。

[尼崎市議会](#) [検索](#) [▽議会中継](#) [NEW! 尼崎市議会 議会中継](#) [平成 29 年決算特別委員会 10 月 5 日](#)

(画像：尼崎市議会公式HPより)

市政に関するご相談がございましたらお気軽にご連絡下さい

ホームページ <http://myokenkoichiro.com/>



明見 孝一郎 後援会連絡所
〒660-0095 兵庫県尼崎市大浜町2-26
TEL:06-6415-2131 FAX:06-6415-2133